

こまつ笑顔 フォトコンテスト

「市民が主役、市民総がかりで小松を元気に」を目指して、「希望」をテーマに作品を募集しました。見ている側も笑顔になれる作品ばかり。応募総数178点の中から、入賞作品21点を紹介します。

大賞 「羽ばたけ！」
山本彩加さん(上牧町)

問い合わせ
広報秘書課
☎24・8016



講評
子供の最高の笑顔と家族の絆を感じる、勢いのある作品です。大空へ舞い上がる子供の成長をお父さん、お母さんが楽しみにしているのが伝わってきました。

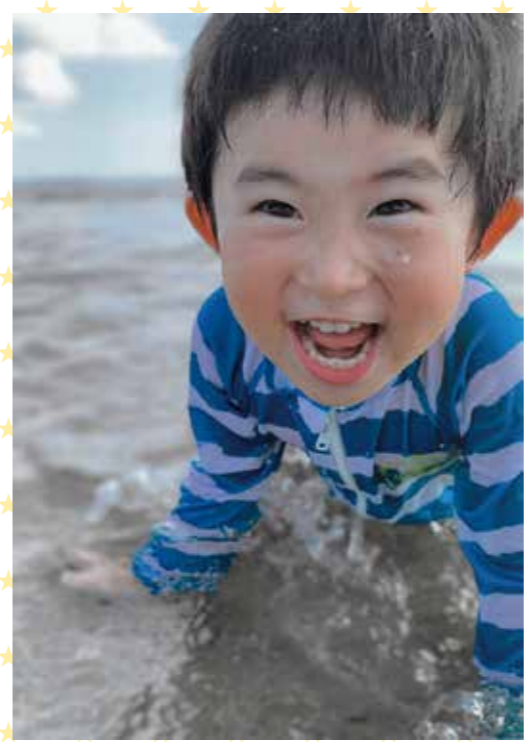
日藝特別賞

日藝特別賞は、日本大学芸術学部が審査・選定しました。



「ぶどう食べて大きくなるよ！」山口直恵さん(白山町)

講評
ブドウ狩りの楽しさ、ブドウの美味しさがとてもよく伝わってきます。それは子供の位置や表情、目線、ブドウの持ち方などの画面構成がよく、またそれにより撮影者との仲の良さが伝わってくる魅力的な写真になりました。



「はじめての海」片山陽平さん(養輪町)

講評
笑顔の瞬間を見事に捕らえています。画面構成も素晴らしく、主役を大胆にアップで右上に配置し、左側の空間に広い海と美しい空を主役の邪魔にならないようぼかして構成した画面にはただただ脱帽です。

優秀賞

受賞者のコメントを添えています。



「希」田中啓介さん(島町)
兄弟仲良く育てね。



「いつもの“笑顔”」鳥井侑果さん(月津町)
隣で笑っている笑顔に助けられています。



「水遊び楽しいー！」
山田奈津子さん(下牧町)
初めてのお家プールに大興奮。

佳作

表情や足どりまで、全てがピカピカに見えました。



「ピッカピカピカの一年生！」
長野久美子さん(上本折町)



「目標は高く」
大野加菜さん(符津町)
達成感からにじみ出た笑顔が格好良かった。



「令和のトマトっ子」
村田のり子さん(白嶺町)
鈴なりのフルーツミニトマトの収穫です。



「初収穫」
竹田雅子さん(長田町)
祖父母の畑の苺が実り、初収穫。



「すてきな星空の下で…」
村田幸子さん(東山町)
兄弟仲良く遊具で遊ぶ姿を撮影。



こまつ笑顔 フォトコンテスト作品展

入賞作品を含めた全応募作品を展示します。また、日本大学芸術学部写真学科による作品展も行います。ぜひご覧ください。
12月16日(月)～25日(水)※平日のみ
市役所エントランスホール



奨励賞

「あー！極楽」細呂木谷田さん(符津町)
息子が大きくなったとうれしくなった1枚。



「はい！わたしにまかせて！」
大田延彦さん(吉竹町)
すてきな将来を望む祖父からバトンタッチ。



「葉っぱ仮面」山崎幹英さん(川辺町)
でっかい葉っぱでお面。



「お兄ちゃんになったよ！」
相川 香音里さん(日末町)
初めて妹を抱っこした時の写真。



「やねまでとどけ！」
岡山 咲子さん(今江町)
屋根まで飛ばそうと頑張っていました。



「思い出を大切に」
森川 梨絵さん(犬丸町)
おばあちゃんと姪とのほのぼのした時間。



「生後100日の笑顔」
中田 純平さん(千木野町)
娘がうれしそうに母親を見る姿が愛おしくて。



「夢をのせて」
北川 由美子さん(今江町)
仲良く綿毛を飛ばし合っている姿にほっこり。



「ピカピカの一年生！」
千葉 公太さん(育成町)
入学式を無事に済ませ、解放された姿をパチリ。



「七三三」山口和紀さん(白山町)
お祈りするつもりが、鈴をうまく鳴らせず…。



審査員の皆さん(左から)
小松美術作家協会 北中 和子さん
空とこども絵本館 尾木沢 響子さん
地域おこし協力隊 福岡 大平さん
市政提案モニター 西田 優希さん
小松市立高校芸術コース 武部 由季さん



日藝特別賞
審査員
日本大学芸術学部
写真学科准教授
田中 里実さん

大げらひ

「オレんじんぐ」の輪

認知症になっても安心して暮らせるまちへ

市では、認知症に関する知識と理解を深めるとともに、認知症の人と家族が安心して暮らせるように取り組んでいます。

「認知症」を知ろう

認知症は「様々な原因で脳の細胞が損傷を受けたり、働きが悪くなることで記憶・判断力が低下し、日常生活に支障が出ている状態」を言います。誰にでも起こりうる病気ですが、65歳以上では4人に1人程度が認知症(予備群を含む)と言われています。

問い合わせ 長寿介護課 ☎24・8168

認知症サポーターになろう

市では、認知症に関する正しい知識と接し方を学び、温かく見守る「認知症サポーター」を養成しています。

ビデオ上映を交えた養成講座(90分程度)を受講すれば、どなたでもサポーターになれます。受講の証にオレんじングを配布します。

講座の開催は随時受け付けており、対象は町内会や学校などの団体となります。費用は無料で、日程や会場を調整し、講師を派遣します。

さらに学びを深めたい人へ

地域での活動を目指すゴールドサポーターや認知症ケアコミュニティマイスターなど、ステップアップの機会もあります。12月は次のとおり公開講座を開催します。どなたでも聴講できます。

認知症ケアコミュニティ マイスター養成講座 (公開講座)

とき・内容 12月21日(土)
○10時～12時 「認知症の方の食事の意味を考える」講師…谷歯科医院 歯科衛生士 谷恭子
○13時～14時30分 「認知症と薬」(講師…一般社団法人小松能美薬剤師会 高林大輔)
ところ コミュニティスペースとんとんひろば(小馬出町35-1)
参加費 無料(申し込み不要)



認知症の人との
関わり方を寸劇を交えて
分かりやすくお伝えします。
認知症への理解を深め、
みんなで支え合う
地域づくりを目指して
活動しています。



キャラバン・メイト(認知症サポーター養成講座の講師)の吉田茂樹さん(左)と上原清美さん

こまつ認知症ほっとけんステーション

認知症についての相談や、情報収集ができる医療機関などを「こまつ認知症ほっとけんステーション」として設置(73カ所)しています。高齢者総合相談センターと連携し、本人や家族からの相談に応じています。

▶右のステッカーが目印です。
気軽に相談してください。



知っておきたい!小松市の認知症対策

こまつ認知症ほっとけんSOSネット

認知症の高齢者などが行方不明になった時、速やかに発見・保護するためのネットワークです。

行方不明者が発生した際、市は協力事業者に対して情報提供と捜索協力を依頼し、地域ぐるみで行方不明者を発見・保護します。

現在は介護サービス事業所、郵便局、交通機関など、約90の事業者が協力事業者として捜索に協力しています。

